

2025年度保育所及び認定こども園における自己評価

本年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育・教育に活かせる内容で記入して下さい。

・ A B C D の4段階評価です。

A : たいへんよい
B : よい
C : 一部検討を要する
D : 改善を要する

保育所・こども園名【 上木崎保育所 】

自己評価の観点	前年度の評価	本年度の評価
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について		
① 会の保育理念を十分に理解し、日々の保育実践に活かしている	B	B
② 園の保育方針、保育目標を理解し、保育を実践している	B	B
評価の根拠 基本的な保育の理念、方針などに沿った保育目標が日々立てられている		
2. 保育について		
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	B	A
② 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	B	B
③ 評価、資料（諸記録）を集積している	B	B
④ 日々の保育実践について振り返りを行い、計画に生かし、子どもの育ちに反映させている	A	B
⑤ 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している	A	A
⑥ 気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	A	A
⑦ 季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	A	A
⑧ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	B	B
⑨ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	A	A
⑩ 保育についての話し合いをよくしている	A	A
⑪ 保育士自身が楽しんで保育をしている	B	A
⑫ それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	B	B
評価の根拠 クラス間でしっかり情報を共有し、定期的話し合いの場を設けている 子どもの意欲を高めるようなあそびの準備にはクラスによって差が生じやすい。余裕がなくやりたくても十分にできない		
3. 健康管理について		
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	A	A
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	B	A
③ 乳幼児突然死症候群（SIDS）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	B	A
評価の根拠 マニュアルはしっかりしている。玩具もパートさんが毎日消毒して下さっている 玩具を全て消毒できないこともしばしばある		
4. 行事について		
① 行事の種類や実施回数は適切である	A	A
② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	A	B
評価の根拠 子ども達が主であることを前提に行事を行っている。見直しや反省を踏まえて日々取り組んでいると思う		
5. 食育について		
① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	A	A
② 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	A	A
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	A	A
評価の根拠 保育者と調理員が密に連携がとれていると感じる		
6. 運営について		
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	B	B
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている	C	C
③ 打合せ回数、時間、内容は適切である	C	B
評価の根拠 会議の時間（全体会議）が長くなってしまふ。 話し合うこと、報告がもりだくさんで、時間で終わらない 会議の時間をなかなか確保できないときもある 課題はあると感じる		

自己評価の観点	前年度の評価	本年度の評価
7. 保健・安全指導について		
① 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている	B	B
② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	B	A
③ 事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている	B	B
④ 廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している	B	A
⑤ 室内の衛生やクラス廻りの清掃など、気持ち良い環境に心がけている	B	B
評価の根拠 自分自身がより意識して良い環境にしていける余地があると感じる 意識はしているが課題もあると思う。掲示物の落下など。		

8. 研修について		
① 部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている	B	B
② 研修報告を園内で実施している	B	B
評価の根拠 参加したい気持ちありつつ行動になかなか移せていない。報告書に目を通すようになっているが、全体へ口頭報告の時間はなかなか設けられていない		
9. 情報管理について		
① 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	A	A
② 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	A	A
③ 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している	B	B
評価の根拠 書類の作成をする時間が足りず超勤になっている。		
10. 設備について		
① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	B	A
② 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	B	A
評価の根拠 エアコンの清掃が入り助かっている 設備の不備があれば迅速に対応されている。		
11. 保護者支援について		
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている	A	A
② クラス懇談や個別懇談を行っている	A	A
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている	A	A
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	A	A
評価の根拠 保護者も共通理解のもとで、より保育と子育てを安心して楽しめるように協力していきたい		
12. 開かれた園づくりについて		
① 園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している	B	A
② 職員による、育児に係る「子育て相談」は充実している	B	B
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	B	B
④ 中高生の職場体験や実習生の受入体制について、その意義や方針を全職員が理解している	B	B
⑤ 来客や地域の方に明るく挨拶をしている	A	A
評価の根拠 園内の雰囲気は明るく、外部の方にもむけた行事が行われ、開かれていると感じる 中学生の未来くるワーク、高校生のボランティアを実現したい 子育て支援専門の職員と正規職員は部門分けられていることで、あまり支援の活動内容が分からない		
13. 情報発信について		
① 保護者に向けて、コドモン、園だより等で情報発信に努めている	A	A
② 地域や小学校等に向けて、行事、子育て支援等の周知に努めている	B	B
評価の根拠 少しずつ行事の掲示や挨拶等で地域に向けて発信することでつながりは増えていると感じるが、より地域との連携を図っていきたい		
14. 人権擁護について		
① 園児一人ひとりの人格を尊重し、適切な言葉かけや関わりをしている	B	B
② 園児の家庭環境や国籍、性別等の多様性を認識し、差別のない関わりをしている	A	A
③ 園児や保護者のプライバシーに配慮し、適切な対応や関わりをしている	B	B
評価の根拠 研修や園内周知を通して気を付けるようにしている		
15. 総括		
<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の課題に対する自己評価及び前年度よりも改善・充実したと考えられる点 <ul style="list-style-type: none"> 食育や運動あそび（散歩等含む） マニュアルなどできてきて、新しく入った職員も各クラスのマニュアルを読んで把握できるようになったと感じる。 全体的に改善してきて充実してきてよい 掲示の活用・整理（情報・資料）を改善し、保育内容を保護者、職員間で共有しやすくなった。 保育者同士の連携や会話が密になった ・課題だと考えられる点や次年度の計画に反映させたい点 <ul style="list-style-type: none"> 学年ごとの発達（生活・育ち・援助）を捉えるとともに園全体での0～6歳までの発達・生活・育ちの理解深める 園のルールについて、職員が同じ認識を持っていないところについて全体で共有・統一したい。 会議や打合せの時間が予定時間より長引いてしまう 		